

うに郷通信

No.103
平成30年(2018)1月

発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

年頭のごあいさつ



会長 常峰八郎

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお元気に新しい年をお迎えになりましたこととお慶び申し上げます。

昨年は全国のあちこちで豪雨や台風による被害がありましたが、宇仁郷まちづくり協議会も台風21号の影響を受け恒例の「コスモまつり」のイベントを中止しなければならない事態となり、皆様に申し訳なく思っております。

さて、一昨年より取り組んでおります新規居住者区域の見直しと宇仁小学校旧グラウンド跡地利用、また地域主体型交通システム(コミュニティバス)運行などについて第2回目のアンケート調査を実施し、地区の意向が区長様や皆様方のご協力でもとまりつつあります。引き続き若い方の新規居住者区域への入居や、年配の方々の外出がしやすい環境づくりに取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

ところで、泉中学校区の中に幼稚園・幼児園が5施設ありますが、市が1つの園に統合する計画を進めており、宇仁幼児園の保護者の方が送迎の負担が大きいということで猛反対をされていることを知りました。協議会としてもこれに同意し、泉中学校区全戸へ統合反対のチラシ配布を保護者の方と共に実施しました。また宇仁小学校体育館で市長の説明があった時は350人以上の住民が出席し、切実な統合反対の意見が出されました。しかし「泉子ども園(仮称)」として用地取得などが着々と進んでいると聞いています。協議会としても完全に諦めたわけではありませんが、宇仁幼児園だけ存続というのは厳しい状況になってきています。

これからも宇仁郷まちづくり協議会は皆様方にご支援をいただきながら活動していきますのでよろしくお願いいたします。新年の挨拶とさせていただきます。

北播磨ふるさとフェスタに参加しました



11月25日(土)三木市文化会館において北播磨ふるさとフェスタが開催され、ふれあい喫茶と宇仁の朝市が出店しました。朝市は、ほかほかの朝市を終えた後アオノゴルフへ野菜を持ち込み、その足で文化会館へ向かいました。先に到着していたふれあい喫茶と一緒に開店準備を行い、11時30分からの物品販売開始を待たずに沢山のお客さんにお買い求めいただきました。

当日は肌寒い一日で、富田地区の協議会(味噌汁の提供)と宇仁郷まちづくり協議会が屋外のテントで、その他のテナント(巻きずし、山田錦の酒、ジャム等の販売)はコミュニティホールでした。富田地区の温かい味噌汁をいただいて弁当を食べ、寒さにも耐えて頑張りました。

なお、13時15分から開催されたセレモニーにおいて、宇仁郷まちづくり協議会はアドプト事業等の活動が認められ「兵庫県くすのき賞」を受賞、また、参画と協働による地域づくりに貢献した功績で常峰八郎会長が「兵庫県こうのとり賞」を受賞されました。(宇仁の朝市、ふれあい交流広場、事務局)

宇仁地区の活性化に頑張っています！ <各部会からの報告・抱負>

1. 子育て支援センター

(センター長 繁田 基)

本年の子育て支援センターの活動は、PTA 総会および3回の参観日に学童保育を行うとともに、春と秋の草花の植え付け、8月の一斉清掃を予定しています。現在、活動にご協力いただいているボランティアが限られており、地域の活動にご協力いただける皆様の新たなご参加をお待ちしています。

宇仁郷の活気ある活動があってこそ地域の魅力が光り、人口増につながると信じておりますので、一人でも多くの方のご協力をお願いします。(連絡先 0790-45-0099 青野町 繁田 基)

2. 宇仁の里・花畑街道部会

「くすのき賞受賞」と今後について

(部会長 稲木善英)

地域の活性化を目指す宇仁郷まちづくり協議会の最初に実施した大きなイベントは、平成20年10月、青野町公民館を主会場にした「第1回コスモスマつり」でした。

ウォーキングがメインの「コスモスマつり」でしたが、散策した沿道に花が無かったため、平成21年より、ウォーキングコースに花を咲かせようと県の美化活動事業「ひょうごアドプト」に申し込みました。そして除草剤や燃料、コスモスの種などの提供を受け、県道下滝野市川線、野上河高線と、地区内の市道や自然歩道へ6町(当初は7町)の住民約200人余りが除草剤の散布、草刈り作業、コスモスの種まき作業を始めました。以後9年、宇仁を通る県道や市道沿いの整備を進め、同時にコスモスマつりを盛り上げる取り組みを継続的に実施しています。今回、兵庫県よりの「くすのき賞」受賞はこの地区皆様方の努力と継続性が高く評価されたものと推察しています。今後ともご協力を何とぞよろしくお願い

します。



3. 宇仁の朝市

(部会長 繁田進作)

宇仁の朝市は毎週土曜日のぼかぼ店と日曜日の青野店を開催し、地元で採れた新鮮な野菜や果物をお安く皆様に提供しています。近年お年寄りの「ふれあいの場」として、お茶を飲みながらの団欒の場としても定着してきました。皆様も是非、お立ち寄りいただき楽しいひと時をお過ごしください。また、サイサイまつりや「北播磨ふるさとフェスタ」にも参加するほか、最近ではゴルフコンへの賞品の依頼もあり、お客様の数や取扱数量も増えてきています。どうか皆様方、今年も「宇仁の朝市」をご利用いただきますようお願いいたします。



サイサイまつり会場の朝市

お願いついでにもう一つ、私達スタッフも固定化してきています。そこで、どなたでも結構ですのでボランティアに参加して新しい風を吹き込んでください。お待ちしております。

4. 定住促進部会

宇仁地区土地活用計画について

(部会長 井上芳弘)

一昨年来、土地や建物の活用について、地域の皆さんや当地域の福祉・スポーツ施設や企業などの従業員の方々にもご協力をいただいたアンケート調査に基づいて、昨年10月の幹事会で加西市都市計画課や(株)地域計画による改定案が示され、11月から12月にかけて各町役員会のご協力で概要の説明会が行われました。各町でのご意見を踏まえて調整を行い、本年2月冒頭には回覧等により皆様のご意見をお聞かせいただく予定です。この間、特別指定区域制度の活用などを含め、I・Uターンも着実に進んでいるところですが、年ごとの出生率の減少が懸念されます。さらなる情報提供にご協力ください。

5. 里山ふれあいの森部会

(部会事務局 山本勇二)

兵庫県が薦める「里山ふれあい森づくり住民参画型」によって平成21年度から25年度までの5カ年計画で八王子神社鏡山境内林を整備し、平成26年度からは国が薦める森林・山村多面的機能発揮対策事業で現在4年、合わせて、来年度は10年目を迎えます。

課題は、鏡山東側におよそ40年前にヒノキを植林しましたが、建築材の用途で植えて手入れのノウハウも

ないまま成長したもので、どのように里山として再整備していくか、鏡山全体をどのように整備していくかなどです。

年度ごとに県や市の助言・支援と町民の皆さんの協力を得て、伐採した樹木の搬出と材木の利用、伐採後の再生など、1年1年の小さな作業の積み重ねで、常緑樹や落葉樹、花木などが混在していて、季節が現れる森、桜や紅葉の並木道など、10年ごとに変わっていく森を創造して行きたいと思います。

また、近畿の学生たちが里山で地域活動する拠点づくりに協力し、現在、鏡山里山入口でツリーハウスを作っています。まだ、未完成ですが、冬の寒い時期、週末ごとに作業に来ると云っています。完成が待ち遠しいです。



6. ふれあい交流広場部会

(部会長 岡本 優)

部会が発足して8回目の正月を迎えました。年々、個人的に協議会活動に腰が重くなっています。体力、気力ともかなり衰えています。今元気を保っているのは、参加することで会話がはずんで笑いが生まれ、ストレスを緩和しているからだと思えます。野菜作り、病気の話、頻尿自慢など面白いですよ。宇仁の皆様、ぜひ情報交換の場にしてください。茶話会、クラス会、会議等々、ご利用をお待ちしています。

(1) 宇仁ふれあい喫茶

(代表 稲木 秀子)

ふれあい喫茶が宇仁の皆様にとって憩いの場に、また出会い、再会の場になればと願い6年9ヶ月、毎月喫茶を開いて来ましたが、笑い声が絶えないふれあい館でスタッフ一同心よりお待ちしております。

年に2~3回のギャラリー、さくらまつり、コスモスまつり、市依頼のイベントの喫茶、北播磨県民局の絆プロジェクト、市老連芸能祭の喫茶など外へも出張しています。また一昨年から開催している夏休み子供塾、昨年は30人の子ども達が参加してくれました。勉強、昼食の焼きそば、午後の遊びで一日過ごしました。「楽しかったー。」と夏の思い出の1つになればと思っています。今年も開催する予定です。“宇仁っ子集合！！”

スタッフの皆さん今年もよろしくお祈りします。一緒にこの一年も笑いましょ。



(2) 宇仁うたごえ広場

(代表 宇仁 妙子)

今年は成年。社会性のある犬は人間に一番なじみのある動物かも知れませんが、人間と共に暮らし、生活に潤いを与えてくれます。

私たち宇仁うたごえ広場も『暮らしの中に歌声を、心に歌を』という願いの下、歌の楽しさ素晴らしさを宇仁地区の皆さまと共感できればと願っています。今春には楽しい「宇仁うたごえ広場」が開催できるよう、進んで参りたいと思います。本年も皆様の温かいご協力を心からお願い申し上げます。

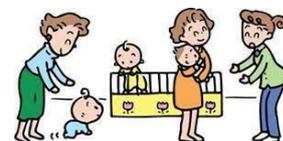


(3) 子育てほっとトーク

(代表 岡田 寿美、繁田 由見子)

1年前には、お母さんに抱っこされて参加してくれていた子ども達が、車のおもちゃや木琴のバチを持って遊び、歩き回る様になりました…毎月1回ですが…お母さんや子ども達の成長を感じる事ができ、スタッフ一同嬉しく思っています。

今年も地域の子供達やお母さんのコミュニケーションをとる場でありたいと思って活動して参ります。2018年も、お母さんと宇仁っ子達が幸せに過ごせる事を願って…(^-^)



(4) パソコン教室

(代表 繁田 昭彦、繁田 利成)

昨年は6月から11月まで隔週の水曜日にワードを主体としたパソコン教室を開催しました。今年はエクセル主体の講座開催を検討しています。中古パソコンの入手、ハードディスクの故障修理、ワードやエクセル以外のアプリ利用等々パソコンのことなら何でもご相談に応じます。オペレーティングシステムのWindows10もVer.1511から1607、1703、1709へとバージョンアップしました。新しいものが良いとは言い切れませんが我々の頭脳もUpdateできたら…!? 今年も皆様のご参加をお待ちしています。

7. 情報部会

(部会長 繁田利成)

宇仁郷通信は昨年10月に記念すべき100号を発行することができ、次の200号に向けて新たなスタートをきりました。執筆・校正のご協力をいただきました方々に厚くお礼申し上げます。

また、ホームページの活用方法についても皆様のご提案をお待ちしています。今年も皆様方のご協力を得ながら情報部会活動を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

8. 油谷川ホタル再生プロジェクト 各町でのホタルスポットを見つけよう (担当 井上芳弘)

昨年も、国正町の黒崎忠彦さんのご協力で約7,000個のカワニナの放流を行ないました。昨年の油谷川観察会は悪天候で残念でしたが、今年はきっと大丈夫です。また、ぜひ各町でもホタルが飛び交う場所を観察してみましよう。



9. 宇仁郷歴史資料館部会

(部会長 吉田義尊)

宇仁郷歴史資料館は、平成27年10月開設以来、日本史と宇仁郷を対比した歴史年表をパネルにして展示しています。文化財の写真や、各町の民俗、習慣、方言等も展示しています。

また、ふる里文庫として歴史に関する一般図書を購入し、児童マンガ日本史や伝記関係も取り揃え、一般に貸し出しも行っています。その他、宇仁小学校のご協力で児童による「ふる里ガイド隊」を育成し、来訪者に八王子神社などのガイドを行うなど活躍してもらっています。

昨年、地域の文化財である各町のお堂と仏堂、その御詠歌の解説を行いました。これは本年度に製本し皆さまに公表したいと考えています。

次に、郷土史研究家の故吉田省三先生(田谷町出身)の著作物と、歴史関係の蔵書(歴史資料、民俗、文芸全集物)を吉田氏のご好意により寄贈を受け、展示する計画をしています。これにより、加西、加東、小野、三木、多可、福崎等近隣の歴史研究や講演会等東播地域の核として、活動していきたいと計画しています。

今後は、宇仁の皆さまには児童を含め歴史に関心を持っていただき、資料館が歴史を通じて地域の皆さま方の心のふれあいサロンとなる事を願っています。



10. スポーツクラブ21部会

(部会長 山田 弘)

スポーツクラブ21部会は、皆様の健康と体力増進を願ってウォーキング、グラウンドゴルフ、ゲートボール、ゴルフ、健康体操、ヨガ、山遊会、フットボール、ソフトバレー、ふるさと太鼓、テニス、バドミントン等の種目で活動しています。

私たちの体は若い頃は何不自由なく動いていますが、使わなかったり動かさないでいるとどんどん退化して動きが悪くなります。そうなる前に年始めのこの機会に少しずつ短い時間でも自分に合った無理のない運動を始めてみませんか。一人で無理ならお友達と、一人でも多くの皆様と一緒に楽しく気長に頑張りましょう。

さつまいも祭りに参加して

平成29年11月25日(土)、宇仁小学校体育館においてさつまいも祭りが“ホクホクのありがとう”のタイトルで今年も実施されました。幼児園児による歌とダンス、低学年児童による創作劇では演じる中で色々な工夫がうかがえ、観覧しながら考えさせられました。

休憩時間においしい“さつまいも汁”をいただき、後半の演目で全校生による歌や先生方による「お楽しみ演奏」、そして、最後に全員による風船とばしがあり、素晴らしい晴天と無風に近い天気の中風船がどこまで飛んでいくのかと考えながら、高く消えていくのを全員でゆっくりと眺めていました。何日か後に拾われた方から来る頼りが楽しみです。

児童・園児との三世代にわたる交流は、まだ孫がないとか遠方に住んでいる等で子どもや孫たちと接することの少ない人達にとってもすばらしく貴重な半日の集いであったと、このような取り組みを今後も続けていただきたいと感じたさつまいも祭りでした。



(宇仁地区老人クラブ会長 繁田 基)